

2022年3月14日

学生の皆さん、保護者の皆様

2022年度の授業形態等について

南山大学長 ロバート・キサラ

新型コロナウイルスの影響により、この2年間、本学も、他大学同様、感染状況に応じて対面方式とオンライン方式を使い分け、あるいは併用して授業を進めてきました。そうした中、学生の皆さん、保護者の皆様、教職員や大学関係者らの積極的な協力により、学内でクラスターを発生させることなく、予定された学事を無事に終了させることができました。

2022年度の授業実施についても、基本的には、従来と同様の考え方で臨むこととなります。現在は、オミクロン株の影響がなお残っており、感染収束を見通すことができない状況です。そこで、当面は、次のような方針で授業を実施する方針です。

1. 原則として、教室を収容定員の50%で運用し、対面方式で授業を行う。
2. 受講者数が予定された教室の運用定員を上回った場合は、
 - ①グループごとの対面方式
あるいは
 - ②オンライン方式（※学修効果の点から①が適切でないと判断された科目）で授業を行う。
3. 定期試験は、原則として、南山大学試験規程に基づき実施する。

課外活動も、この2年間、大変な影響を受けてきました。しかしながら、私たちは、授業での対処方法と同様、課外活動の中でもその対処方法を見いだしてきました。感染状況に応じて活動内容を変えることによって、課外活動も、継続して進めていきたいと考えています。

かねてより、南山大学は、すべての学生の皆さんに安心して安全な学修機会を提供し、皆さんが充実した学生生活を送ることが最も重要なことだと考えています。そうした態勢を維持するためにも、皆さんには感染状況に応じて発出される大学の対処指針や対処方法について積極的なご対応をお願いする次第です。

「うつらない工夫 うつさない配慮 人間の尊厳のために ～南山大学～」